

満願寺 青葉区あざみ野 4-27-6

徳川家ゆかりの総本山である芝増上寺の西南に位置していて鬼門除けとして特別の役割を果たしていると言われている。当地は江戸時代に武蔵の国都筑郡石川村と呼ばれていて、村は徳川 2 代将軍秀忠公の正室江姫の化粧料だったらしい。寛永 3 年(1626 年)9 月 15 日に江姫が死去されると、その後同 9 年に隣村の王禅寺村とともに、芝増上寺領となったと記されていました。

満願寺創建は不明だが、約 400 年前と推定されている。

満願寺には江戸幕府 2 代将軍である徳川秀忠と結婚した崇源院（お江）の位牌が安置されている。お江は、織田信長の妹・お市の方の娘で、豊臣秀吉の側室・淀殿（茶々）の妹。三代将軍・家光を生んだ女性。

山門を潜り境代へ入ると左側に十王像が並んでいる。

十王（じゅうおう）とは、道教や仏教で、地獄において亡者の審判を行う閻魔王等の 10 尊で裁判官的な諸王の事だそうです。また、山門近くには古めかしい庚申塔があります。



参道は綺麗に清掃されていた



山門左側に十王がいる



お水舎は龍の口



本殿



歴史を感じる庚申塔